

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	選択中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese (Elective) I		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1 - 514		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
中国語の発音の習得を目標とします。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語第一

【教科書等】
初級中国語 監修 高燕平 / 高燕平 高福玲 付小京 著 (生協で買ってください。)

【授業内容とその進め方】

この授業は、月曜日の中国語第一だけでは物足りなくもっと勉強したい学生さんのためのものです。授業の重点は発音です。特に月曜日で習った21個の子音と36個の母音及び4種類の声調を繰り返し練習します。これを習得すれば、中国語のあらゆる漢字を発音することができます。発音段階が終わったら、簡単な会話の勉強に進みます。それを通して発音を固めながら、中国語の基礎文法を少しずつ学びます。毎回必ず予習復習してから授業に臨んでください。小テストと宿題は基本的毎回有ります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

--

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日の1300～15:00の間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

中国語は漢字ばかりですが、同じ漢字を使う日本人にとっても、全く外国語です。日本語と同形同義語が多いから、日本人にとって勉強しやすいとは限りません。慎重に選んでください。

中国語を学ぶのは中国語脳をつくることです。中国語脳ができたときは中国語を自由に使える日です。問題は作り方です。私の方法はトレーニングです。中国語の発音も、基本語彙も、基礎文法も繰り返しの訓練によって中国語脳をすこしずつ作り上げます。ですから、授業は発音練習・朗読・暗記、普段は予習復習を重視します。私について中国語脳をつくってみませんか。

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！